

雄物川改修100周年記念事業 『みんなの雄物川』をスタート！

～実行委員会の設立発起人会を行います～

大正6年（1917年）、度重なる秋田市の洪水被害を解消するため、秋田市新屋地区での「雄物川放水路」事業を皮切りに雄物川の改修が始まりました。

「雄物川放水路」事業が開始されてから100年の節目を迎える今年は、これまでの水害の歴史や河川改修による効果を振り返って頂く取り組みとして、『みんなの雄物川』をコンセプトに関係者のみならず、幅広い参加による記念事業を目指しています。

この度、記念事業の実施に向けた実行委員会の設立にあたり、「設立発起人会」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

<日 時> 平成29年3月21日（火） 14:45～15:30
<場 所> 秋田市役所 4階 会議兼応接室
<発起人> 代 表 三浦 廣巳（秋田県商工会議所連合会 会長）
穂積 志（秋田市 市長）
霜鳥 秋則（秋田公立美術大学 学長）

また、記念事業のPRのために、秋田公立美術大学の学生に製作頂きました広報用デザイン（ロゴ、イメージ、イラスト）も、併せて発表を行います。

なお、当日は記者会見方式で行います。

<発表記者会：秋田県政記者会、市政記者クラブ>

<問い合わせ先>

雄物川改修100周年記念事業 事務局

（国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所）

計画課 課長

さくらだ つとむ
櫻田 勉

TEL 018-823-4167(代)(内線261)

『みんなの雄物川』プロジェクト

- 秋田の母なる川「雄物川」は、かつては、北前船をはじめとする舟運による物資輸送の大動脈。人や文化の交流の場としても、地域になくてはならない存在。
- 一方で、大雨増水のたびに、家屋の浸水被害を繰り返す暴れ川に変貌し、地域で暮らす人たちの生命や財産を脅かすなど、地域の発展を妨げた。
- 明治以来、県民の永年の願いが実り、大正6年(1917年)、「雄物川放水路」の建設が、国直轄事業として開始。22年の歳月を経て昭和13年に完成。
- この事業により、洪水から地域を守るだけでなく、茨島・新屋地区の新たな土地開発、秋田港の開発の礎となり、秋田市の経済発展の基礎。
- 大曲捷水路や玉川ダムなどの建設も進められ、その治水・利水の働きにより、全国有数の穀倉地帯・臨海工業地帯等の発展・大規模な花火大会の舞台として、秋田の社会・経済・文化を支える役割を担う。
- 雄物川と共に歩んできた秋田の歴史・文化、今日までの発展の経緯を雄物川改修100周年を契機に振り返り、次の世紀、次の世代に繋いでいくことが大切と考え、秋田の産・官・学の関係者が一体となり、さらには、市民の方々を含めた幅広い参加のもと、記念事業を実施。

【記念事業のコンセプト】

『みんなの雄物川』

『みんなの雄物川』行事イメージ(案)

- ・秋田の歴史文化、社会経済の発展と雄物川との関わりを、市民にPRできる絶好の機会
- ・『みんなの雄物川』をコンセプトに、関係者のみならず幅広い参加の呼びかけ:「実行委員会」運営

1. 『主要行事』

- 総合水防演習 (29年5月28日 於 秋田市雄物川下流河川敷)
- 巡回パネル展 (29年5月末~9月雄物川沿川各地
市役所ホール・道の駅等を巡回展示)
- 記念フォーラム (平成29年10月1日 秋田市内)

2. 『市民団体との連携』

- (仮)雄物川フェア
 - ・カヌー体験
 - ・記念植樹
- 川下り大会 (例:舟運時代に想いをはせて、角間川ー土崎)

3. 『学校との連携』

- ロゴ・デザイン (公立美大生のコンペ)
- 小学生図画コンクール
研究発表

4. 『花火大会との連携』

- 雄物川花火大会 (秋田市等)
- 大曲全国花火競技大会

5. 『スポーツ団体との連携』

- ゴルフ大会
- ウォーキング大会
- ラジコン飛行機大会

6. 『報道との連携』

- 特集記事・番組
- 行事共催 (記念フォーラム等)
- 清掃活動